

第4学年 社会科 学習指導案

1. 単元名『昔から今へと続くまちづくり ～寿都^{すっつ}のまちのニシン漁～』

(教科書：『小学社会3・4下』p.84～101／学習指導要領：内容(5)ウ)

2. 単元の目標

地域の発展に尽くした先人の具体的事例を調べ、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや努力を考える。

3. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
寿都の発展に尽くした先人の具体的事例を調べ、寿都の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや当時の人々の努力について理解するとともに、郷土の発展を願う態度を育てる。	寿都の人々の努力と先人の働きや苦労を関連づけて考えている。 寿都の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて、学習問題や予想を考え表現している。	文化資料室で寿都の発展に尽くした先人の働きについて必要な情報を集めて活用している。	寿都の発展に尽くした先人の働きを理解している。 寿都の人々の生活の変化は、当時の人々の願いや先人の働きと苦心によるものであることを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

本学級の児童は、本単元に入るまでに、健康や安全を守る活動として“上下水道・ごみ処理・火事や交通事故を防ぐ仕事”を学習してきた。このような地域学習において、児童は、観察や見学・調査などの体験的な活動をし、それを表現する活動を意欲的に行ってきた。自分の考えを資料や記述などの根拠を明らかにしてクラス全体にわかりやすく述べようとする意識が高まってきている。ただし、時に自分本位の発表になってしまう場面もまだ見られ、友達の意見と関連づけたり、友達の考えを受けてさらに考えを深化させたりという段階には至っていない。本単元では、調べた事実を関連づけて新しい疑問をもったり、見つけ出した重要語句を使って文章でノートにまとめ直したりする力を高めていきたい。

また、自分の考えをもつことが苦手だという児童が数人見られる。これらの児童に対し、資料の読み取りの段階で個別に支援を行っていく必要がある。授業を組み立てる段階で児童が興味をもち、「考えをもてた」「課題を解決したい」と思わせるような教材提示や発問をしていく。そうすることで、社会的事象に対する見方や考え方を変容させていく。

(2) 教材について

本単元は、第3学年で身近な道具の移り変わりを通して地域の人々の生活の変化を見てきたこと

を踏まえ、歴史的内容を扱う単元である。

寿都町は、明治・大正時代に北海道でも有数のニシン漁を中心として繁栄していた町である。その礎を築いた「カクジュウ佐藤家」の働きを切り口に単元のねらいに迫る。当時の寿都の発展に尽くした人々の働きや苦労といった寿都への貢献を実感できるよう、ポイントを絞って提示することで、その価値を見いだせるようにする。本単元で取り扱う事象は、必ずしも現在の子どもたちに身近なものばかりではない。そこで、地域の文化財展示室で当時の写真や道具を間近に体験したり、学芸員に質問したりするなど、子どもの体験活動を多く取り入れるようにした。

(3) 指導上の工夫・留意点

本単元を指導するにあたって、以下の点を意識した。

本単元の構成にあたっては、「過去」―「現在」―「未来」という時間軸によるスタンダードな流れで学習内容を配列した。これは子どもたちの自然な思考の流れに沿ったものである。ただし、単元の導入にあたる第1時には、現在の寿都の良さを考える場面を設定した。これは、子どもたちが生きる今の寿都を入口にして、過去の寿都に対する関心を引き出すためである。また、子どもたちが生きる現在、さらには未来の寿都とのつながりを意識し、子どもたちが郷土に愛着と誇りをもち、将来的に地域を発展させていくきっかけとなることを期待したい。さらには、自ら地域社会に参画し、たくましく生き抜くための、ものの見方や考え方が身につく学びにしたい。

5. 単元の指導計画（総時数 12 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ）	今の寿都町の良さを考え、今日につながる昔の寿都の様子についても関心を高める。	○寿都の町じまんを挙げる。 ・風のまち ・カキ ・ホッケ ・風車 寿都のまちの様子について、学習問題を考えよう。 ○写真を見て気づいたことを交流し合う。 ・寿都は海産物が有名。 ・やっぱり寿都は海のまちなんだ。 ・風車がいっぱいあって、寿都と言ったら風力発電だ。 ・寿都の風の強さと関係がある。 ○今と昔の寿都町の全景写真を比較する。 ・今より建物がたくさんあるかもしれない。 ・昔の寿都はどうして建物がいっぱいだったのだろう。	◎町内の風車の写真 ◎ご当地グルメ「ホッケめし」の写真 ◎寿都の街並みの写真（大正時代と現在） ◇写真を比較するときの観点を共有できるようにする。 ◆今の寿都町の良さを考えるとともに、今日につながる昔の寿都の様子についても関心を高めている。 (関・意・態／ノート，発言)

		<p>今の寿都は、ホッケや風力発電が有名。昔から多くの家が建ち、にぎわっていたが、寿都のまちはどのようにさかえたのだろう。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>B：提示された資料をもとに、寿都の昔について関心を高めている。</p> <p>A：寿都の昔について、自分なりに生活体験や既習事項と関連づけて、関心を高めている。</p>
<p>② ③ (調べる)</p>	<p>文化センターの文化財展示室を活用して、カクジュウ佐藤家の活躍を知り、当時と今の違いを理解する。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○3分間の自由見学で室内の全体像を確認する。</p> <p>寿都の町がにぎわったひみつを調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁に関係するものが展示されている。 ・今は見かけない道具がたくさんある。 <p>○ニシン漁について学芸員さんの説明を聞きながら見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの魚、ニシンというのか。 ・こんなにたくさんとれているのか。 ・男の人も女の人もたくさん働いていたんだね。 <p>○寿都のまちがにぎわった秘密を確認する。</p> <p>寿都町がにぎわったのは、ニシン漁が関係していることがわかった。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎文化財展示室内の展示物、動画など</p> <p>◆文化センターの文化財展示室を活用して、佐藤家の活躍を知り、大まかに当時と今の違いを理解している。 (知・理/メモ、発言)</p> <p>B:大まかに理解している。</p> <p>A：課題を解決するために必要な視点を意識して理解している。</p> <p>◆文化財展示室を活用する際、自分が知りたいことに関する情報を収集している。 (技/メモ)</p> <p>B：目的に合わせて情報を集めたり、取捨選択したりしている。</p> <p>A：情報を集める方法を自ら考えて、効率よく取捨選択して情報収集している。</p>

<p>④ (まとめ)</p>	<p>文化財展示室で調べたことをもとに、寿都がにぎわった理由となる出来事を整理する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見学してわかったひみつを整理しよう。</p> </div> <p>○見学メモの内容をクラスで交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寿都では、ニシン漁がさかんだった。 ・佐藤家という名前の道具があった。 ・佐藤家は、ニシン漁の親方だった。 ・港の模型があった。 ・網やモッコという漁業に関する道具が展示されていた。 <p>○それぞれの事項を関連づける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>寿都はニシンがたくさんとれる漁場で、たくさんの人々が働いていた。佐藤家はその漁場を仕切る親方だった。</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎文化財展示室での見学で撮影してきた写真資料</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆文化財展示室で調べたことをもとに、寿都がにぎわった理由となる出来事を理解している。 (知・理/ノート, 発言)</p> <p>B: 大まかに理解している。</p> <p>A: 課題を解決するための視点を踏まえて、より明確に理解しようとしている。</p> </div>
<p>⑤ (調べる)</p>	<p>ニシンをとる人々の営みについて、2種類の漁法があり、それぞれの取り組みに違いがあることを理解する。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ニシンはどのようにとられていたのだろう。</p> </div> <p>○資料をもとにニシンのとり方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺し網と建網<small>たてあみ</small>の資料をもとに違いを見つける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ニシン漁では、刺し網漁と、佐藤家の親方が開発した行成網<small>ゆきなりあみ</small>のような建網漁が行われていた。</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎文化財展示室での見学で撮影してきた網の資料</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆ニシンをとる人々の営みについて、2種類の漁法があり、それぞれの取り組みに違いがあることを理解している。 (知・理/ノート, 発言)</p> <p>B: 2種類の漁法があったことを理解している。</p> <p>A: 2種類の漁法の違いについて理解している。</p> </div>

<p>⑥ (深める) 【本時】</p>	<p>寿都が発展してきた背景には、伊三右衛門が開発した建網(行成網)と、それを使う多くの漁師たちの苦労があったことを考えて表現する。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>行成網漁の本当のすごさを考えよう。</p> </div> <p>○親方の立場に立ち、働きや苦労を考え、理由をノート書き、全体交流を行う。</p> <p>○資料を見て思ったこと、わかったこと、気づいたことなどをノートに箇条書きし、全体交流を行う。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◆まちが発展してきた背景には、伊三右衛門が開発した建網(行成網)と、それを使う多くの漁師たちの苦労があったことを考えて、表現している。</p> <p>(思・判・表／ノート、観察、発言)</p>
<p>⑦ (深める)</p>	<p>ニシンがとれすぎて困ることは何か、想像することを通して、先人の苦労や工夫についても考え、表現する。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○行成網ではなく、刺し網も使われ続けたのはなぜか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金がかかる。 ・危ない。 ・魚がとれすぎる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ニシン漁の苦労をどのように乗り越えたのか考えよう。</p> </div> <p>○ニシンがとれすぎて困ることは何か、想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運ぶのに重い。 ・くさい。 ・くさってしまう。 <p>○腐らせないためにどうしたのか、提示された袋漕<small>ふくろま</small>の写真をもとに考える。</p> <p>○佐藤栄右衛門が開発したものだと知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ニシンの鮮度を保つ苦労は、佐藤栄右衛門が開発した「ふくろま」によって乗り越えられた。</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎袋漕の写真資料</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆ニシンがとれすぎて困ることは何か、想像することを通して、先人の苦労や工夫についても考え、表現している。</p> <p>(思・判・表／ノート、観察、発言)</p> <p>B: 先人の苦労や工夫について考えたことを表現している。</p> <p>A: 先人の苦労や工夫について、ニシンがとれすぎて困ることと関連づけて考え、表現している。</p> </div>

<p>⑧ (調べる)</p>	<p>地域の開発における先人の苦労や努力について調べ、たくさんの人々の願いと行動によって寿都鉄道ができたことを理解する。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○たくさんのニシンは、どうやって運ばれたのかを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船・車・馬車・汽車 <div data-bbox="478 394 976 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ニシンや人を運んだ鉄道について調べよう。</p> </div> <p>○寿都にも鉄道があり、鉄道ができるまで苦労があったことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小樽から函館を結ぶ路線には入らなかったんだ。 ・それでも町の人々はあきらめなかった。 ・カクジュウ佐藤家の栄右衛門も関わっていたんだ。 ・すごいお金が必要だったけど、ニシン漁のもうけが期待されて許可されたんだね。 ・せっかく鉄道づくりがスタートしたのに、ニシンがとれなくなったなんて。 <div data-bbox="469 1057 986 1169" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様々な人々の苦労と努力で寿都鉄道が開通した。</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎寿都鉄道の写真資料</p> <p>◎当時の計画地図</p> <div data-bbox="1043 300 1420 1021" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>◆地域の開発における先人の苦労や努力について調べ、たくさんの人々の願いと行動によって寿都鉄道ができたことを理解している。</p> <p>(知・理／ノート，観察，発言)</p> <p>B：寿都鉄道があったことについて理解している。</p> <p>A：寿都鉄道と先人の苦労や努力を関連づけて理解している。</p> </div>
<p>⑨ (調べる)</p>	<p>副読本を利用して、まちの様子がどのように変化していったかを理解する。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○副読本などを使って、ニシンがとれなくなったあとの町の様子を調べる。</p> <div data-bbox="469 1384 1008 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>寿都鉄道があったころの町について調べよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・湯別では、米作りも行われていたんだね。 ・寿都にも炭鉱があったんだ。 ・戦争のころ、寿都でも被害が出たんだ。 ・寿都一岩内間にトンネルができて小樽や札幌までバスで行けるようになったんだね。 <div data-bbox="462 1765 1024 1975" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ニシンがとれなくなったあと、しばらく炭鉱の町だったが、戦争の被害にあったり、寿都鉄道がなくなったり、町の活気は失われていった。</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎副読本掲載の写真資料</p> <div data-bbox="1043 1294 1420 1904" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>◆副読本を利用して、まちの様子がどのように変化していったかを理解している。</p> <p>(知・理／ノート，発言)</p> <p>B：まちの様子について様々な変化があったことを理解している。</p> <p>A：既習事項と関連づけてまちのの様子の変化について理解している。</p> </div>

<p>⑩ (まとめ)</p>	<p>主な産業であるニシン漁が衰退したあと、寿都の人々の暮らしがどのように変化していったのか、既習事項と関連づけて考える。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ニシンがとれなくなって、寿都の人々の暮らしはどうなったのだろう。</p> </div> <p>○ニシンがとれなくなったあとの町の人々の様子について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用が増え、鉄道の利用が減少した。 ・炭鉱も閉山して、鉄道の利用が減少した。 ・寿都鉄道は営業できなくなった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>漁業、炭鉱、鉄道と寿都の町での仕事なくなり、人口がどんどん減少していった。</p> </div> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◆ニシン漁が衰退したあと、寿都の人々の暮らしがどのように変化していったのかを考えている。</p> <p>(思・判・表／ノート、観察、発言)</p> <p>B：人々の暮らしの変化について考えている。</p> <p>A：既習事項と関連づけて寿都の人々の暮らしの変化について考えている。</p>
<p>⑪ (まとめ)</p>	<p>先人の働きや戦後の寿都の状況をもとに判断し、自分たちと寿都の将来を結びつけて考える。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これからの寿都のために、自分たちにできることを考えよう。</p> </div> <p>○文化センターにある映像「これからの寿都」を視聴する。</p> <p>○これからの寿都について、既習事項をもとに自分なりに根拠を立てて、未来像を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寿都はやっぱり漁業の町だから、寿都の漁師たちがもっとたくさん魚がとれるような道具を開発したい。 ・今は風力発電がさかんだから、これからはもっと風車を増やして、日本中に電気を送りたい。 <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◎文化センターの映像資料</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆先人の働きや戦後の寿都の状況をもとに判断し、自分たちと寿都の将来を結びつけて考えている。</p> <p>(思・判・表／ノート、観察、発言)</p> <p>B：学んだことをもとにして自分の町の未来を考えている。</p> <p>A：既習事項から根拠をもって考えている。</p> </div>

<p>⑫ (深める)</p>	<p>手紙を書く活動を通して、先人の苦労や願いを受け止めて、これからの寿都に生かそうと考える。</p>	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>佐藤伊三右衛門に、手紙を書いて学んだことを伝えよう。</p> </div> <p>○既習事項を踏まえて、わかったことや、これからの町の展望について自分なりに考えたことを書き表す。</p> <p>○クラスで交流して、単元全体を振り返る。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p>	<p>◆単元全体を見通して、先人の苦労や願いを受け止めて、これからの寿都に生かそうと考えている。 (思・判・表／ノート，観察，発言)</p> <p>B：学んだことをもとにして自分の町の未来を考えている。</p> <p>A：先人の苦労や努力に着目しつつ、自分が社会参画する視点で考えている。</p>
--------------------	---	--	--

6. 本時の指導（第6時）

(1) 本時のねらい

まちが発展した背景には、伊三右衛門の漁網開発，ニシン建網漁の漁師たちの働きや苦労，それに伴う漁獲量と人口の増加があったことを考え，表現する。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
<p>6</p> <p>問 い を 生 む 場</p>	<p>○前時までの振り返りを行う。</p> <p>T：ニシン漁では，どんな網が使われていたかな。</p> <p>C：刺し網です。</p> <p>C：もう一つは，行成網です。</p> <p>T：どちらのほうが，新しく使われていたかな。</p> <p>C：行成網です。</p> <p>T：まさか，寿都の人が開発したわけじゃないですよね。</p> <p>C：そのまさかで，^{うたすつ}歌葉地区のニシン漁場の親方，カクジュウ佐藤伊三右衛門が開発しました。</p> <p>T：この資料（組織図）では，伊三右衛門は，どれにあたりますか。</p> <p>C：右上の親方です。</p> <p>T：ニシン漁場では，こんなにたくさんの人々が一人の親方の下で働いていたんですね。</p>	<p>◎使う資料 ◇留意点 ◆評価</p> <p>◎見学メモ，ノート</p> <p>◎ニシン漁場の組織図</p> <p>◇親方（経営者）と沖合い（漁師）の資料を提示する。資料からは，佐藤伊三右衛門がどこにいるのか，伊三右衛門はどのくらいの数の漁師を雇っているのかという2点を確認する。経営者として，漁師たちの生活を支えていることをおさえる。</p>

	<p>○より具体的に考えるために、新たな社会事象を知らせる。</p> <p>T：行成網のニシン漁では、とても大変なことがあったみたいなんです。それは、昼も夜もなく2、3日働き続けるほど、たくさんとれていたということです。</p> <p>C：えっ！うそだあ。すごい！</p> <p>T：うそみたいですよ。すごいですよね。でも、行成網のすごさがまだあるんです。今日はそのすごさについて考えてみましょう。</p>	<p>◇行成網はたくさんニシンがとれるため、資金のある親方は行成網を使い始めたことをおさえたあと、大漁時の水揚げには、昼夜を問わず数日かかったことを知らせる。</p>
<p>24分</p> <p>様々な考えをつなぐ場</p>	<p>○課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>行成網の本当のすごさとはなんだろう。</p> </div> <p>T：もし、あなたが親方の立場だったら、どちらの網を使いますか。</p> <p>○自力解決…親方の立場で、ニシン漁の仕事の様子や苦労を考えて選び、理由もノートに書く。</p> <p>○全体交流…自分が親方だったら、どちらの網を使うか発表する。</p> <p>C：行成網を使います。理由は、たくさん税金をおさめるためには、たくさんニシンがとれる必要があるからです。</p> <p>C：行成網を使います。理由は、刺し網だと、とれるたびに網をあげなければならないからです。</p> <p>C：行成網を使います。理由は、行成網だと、毎年多くの人手が必要で、本州からも人が集まって来るなど、寿都の人の数が増えて、町がにぎやかになるからです。</p> <p>C：刺し網を使います。理由は、とれる量は少ないかも知れないけど、行成網ほど大変じゃないからです。</p> <p>C：刺し網を使います。理由は、行成網だと全部とるまで2、3日も寝られないほどつらい作業だからです。</p> <p>C：刺し網を使います。理由は、行成網より刺し網でとった魚のほうが新鮮でおいしいと聞いたことがあるからです。</p> <p>C：刺し網を使います。理由は、行成網だと大きなしけのときには、高価な網がだめになってしまうからです。</p> <p>C：刺し網を使います。理由は、行成網だとたくさんとれすぎて、いずれニシンがいなくなってしまうからです。</p>	<p>◆親方の立場で、どちらの網で仕事をするか、理由とともに考え、表現している。</p> <p>(思・判・表／ノート、発言)</p> <p>B：どちらの網で仕事をするか、理由も考え、表現している。</p> <p>A：どちらの網で仕事をするか、双方の網のメリット、デメリットを比較しながら考え、表現している。</p> <p>支援</p> <p>既習事項を振り返り、それぞれの漁の作業内容を確認して、どちらを選ぶのか、理由はなぜかを考えられるように助言する。</p> <p>◇刺し網を選んだ児童がいたら、行成網を選んだ児童のあとに発表させる。</p> <p>◇ハイリスク・ハイリターンについて述べる児童がいたら「すごさ＝メリット」だけではなく、デメリットもあったことを伝える。</p>

	<p>C：刺し網を使います。理由は、行成網だと漁師にとって命がけの作業になってしまうからです。</p>	
15	<p>○資料を見て思ったこと、わかったこと、気づいたことなどをノートに箇条書きし、全体交流を行う。</p> <p>T：〇〇くんが、毎年多くの人がニシン漁のために寿都に集まると言っていましたが、本当にそうだったかな。この資料を見てください。資料を見て気づいたことを、いつものようにノートに箇条書きしましょう。</p> <p>C：どんどんニシンのとれる量が増えていったのがわかります。</p> <p>C：人の数も増えているのがわかります。</p> <p>C：ニシンをたくさんとるために、たくさんの人手が必要だったので、人の数が増えたのだと思います。</p> <p>T：人が増えると、町はどうなっていくのでしょうか。こんな写真があります。</p> <p>○当時の芝居小屋、商店、宿、学校などの写真資料から気づいたことを話し合う。</p> <p>C：人の数が増えたので、その町で生活する人のための施設や店も増えていったということだと思います。</p> <p>○課題に対してまとめを行う。</p> <div data-bbox="376 1216 1177 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>行成網の本当のすごさとは、ニシンがたくさんとれるようになったことだけでなく、そのおかげで、寿都の町に住む人が増え、町が栄えていくのに大きな役割を果たしたことだ。</p> </div> <p>○次時の予告をする。</p> <p>T：これだけ良いところがあるのに、刺し網も使われ続けたのはなぜでしょう。次回は、佐藤伊三右衛門の後継者の働きについても調べていきましょう。</p>	<p>◎明治末期から大正期の寿都地域におけるニシン漁獲量と人口の変動グラフ</p> <p>◇データが不足していて抜けている部分があるが、おおよその傾向をつかむように促す。</p> <p>◇ニシンがたくさんとれるようになったことが、人口の増加につながり、町の発展にも大きく貢献したということに気づかせる。</p> <p>◆まちが発展してきた背景には、伊三右衛門が開発した建網(行成網)と、それを使う多くの漁師たちの苦労があったことを考えて、表現している。 (思・判・表／ノート、観察、発言)</p> <p>◇本時を振り返り、次時の学習活動の見通しをもたせる。</p>